



平成26年度 関市総合防災訓練

<今年度訓練の特徴>

○避難所運営体験（リアルHUG訓練）（場所：田原小学校体育館）

通常のHUGは、避難者カードを避難所の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所での出来事にどう対応していくかを模擬体験する訓練ですが、今年度は会場に避難をしてきた人を実際に体育館に誘導し、座る場所の配置など、実際の避難所に近い動きを訓練します。

参加される方には、避難所の様子を体験していただくとともに、避難所に関する説明、パーティションのデモンストレーション、NTTドコモによる仮設電話の設置についての説明などを行います。



←実際の避難所の様子

通路を確保し、避難所内が整理されている

○土のう積み訓練（場所：田原小学校グラウンド）

陸上自衛隊の指導の下、浸水害などの発生時に備えて、水防に関する知識や土のうを使った水防技術を習得します。



土のう積み訓練の様子
河川などからの浸水を防ぐ



○ 実践型 災害対策本部運営訓練（場所：市民ホール）

予め伏せておいた被災情報等を電話で一斉付与し、それらの情報を正確に収集、図上等で把握するとともに、本部員が対応等を判断、発信（本部長に具申）、各班に指示するなど、情報収集から処理、指示に至るまでの一連の動きを実践的に訓練します。

- ※ 一般市民等を演じる支部要員から、電話により、災害対策本部へ被災情報を受信します。本部で処理後、担当本部員から一部の班長に実際に指示を出し、指示を受けた班長は、指示に対する処置について班内で協議、確認し、各班処置対応報告書に記入し、本部員に報告。
- ※ 訓練当日の朝、一部の班長宛てに24時間以内の各班対応に係る被災状況をメールにて付与し、その想定への対応について班内で協議し、処置した内容を情報ジャーナル用紙に記入、災害対策本部に報告。



○ 車載無線／同報無線取扱訓練（場所：市役所庁舎）

各班1名が車載無線及び同報無線の取り扱いについて訓練し、災害時に電話回線等による通信手段が途絶えた場合や、緊急時における限られた人数での情報伝達対応等に備えます。



1. 目 的

関市全域での防災訓練を実施することにより、市民に避難、救出、救護及び消火活動等の知識、技術を習熟していただき、災害に対する自助、共助の意識の高揚と自主防災会としての機能強化を図るとともに、災害時における行政機関の迅速かつ的確な活動体制の確立並びに防災関係機関等との連携強化を図ることを目的とする。

2. 日 時 平成26年10月26日（日）午前8時30分（サイレン）から正午まで
（職員訓練：午前7時00分から）

3. 場 所 関市全域 主地区 田原地域
主会場 関市立田原小学校

4. 主 催 関 市

5. 協 賛 関市自治会連合会 田原支部

6. 参加者 参加予定人数 12,000人（市内全域）
（訓練参加機関）

関市議会、関市消防団、中濃消防組合関消防署、岐阜県防災航空隊、陸上自衛隊第35普通科連隊、関警察署、関保健所、国土交通省岐阜国道事務所、中部電力（株）関営業所、NTT西日本（株）災害対策室、（株）NTTドコモ東海支社岐阜支店、郵便事業（株）関支店、中濃厚生病院、関中央病院、日本赤十字関市奉仕団、武儀医師会、関薬剤師会、関歯科医師会、岐阜県飲食生活衛生同業組合関飲食業組合、関市建設業災害対策協議会、関市管工事協同組合、関建築工業会、関電設工業会、岐阜県建築士事務所協会中濃支部、岐阜県公共嘱託登記土地家屋調査士協会、NPO法人東海耐震マイスター倶楽部、関商工会議所建設部会、中濃生コンクリート協同組合、岐阜県トラック協会濃飛支部、岐阜県タクシー協会中濃支部、岐阜県エルピーガス協会武儀支部、関市防災指導員連絡協議会、関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会、関市自治防犯防災会、関市女性防火クラブ、命をつなげる会中濃、関市社会福祉協議会、関アマチュア無線連絡協議会、日本公衆電話会

7. 訓練想定

平成26年10月26日（日）早朝、大型の台風により、土砂災害警戒情報及び岐阜県記録的短時間大雨情報が発表され、市内の広範囲において、家屋の浸水が発生、土砂崩れ等により各地域の道路が寸断した。

災害対策本部長は、関市災害対策本部を設置し市内全域の自主防災会より避難者数及び被害情報を収集、二次災害防止を図るとともに、被害が甚大な田原地区に現地災害対策本部及び拠点救護所を設置。

災害応援協定に基づく関係機関及びボランティア団体等と協力し避難救援措置を講ずる。

8. 訓練内容

（職員訓練）

職員非常参集訓練、災害対策本部運営訓練、各班対応訓練、車載無線/同報無線取扱訓練

（市内全域）

緊急速報訓練、住民避難訓練、避難情報伝達訓練、自主防災会防災訓練、各地域事務所管内にあつては孤立集落災害対応訓練及び災害図上訓練（DIG） ほか

（主会場）

市民参加訓練

避難所運営体験（リアルHUG訓練）	体育館内での避難所運営や避難誘導などを体験
倒壊家屋からの救出救護訓練	ジャッキなどを使用し、倒壊家屋からの救出方法を習得
可搬ポンプ取り扱い訓練	可搬ポンプの取扱方法を習得し、放水を体験
消火器取り扱い訓練	消火器トレーナを使用し、消火器の取扱方法を習得
ボランティアセンター登録コーナー	災害ボランティアセンターに登録
土のう積み訓練	浸水時に役立つ土のう積み工法を習得
アルファ米炊き出し訓練	アルファ米の炊き出しを体験し、試食
心肺蘇生・AED 取り扱い訓練	心肺蘇生法やAEDの取扱を習得

体験・相談・見学コーナー

防災備蓄倉庫の資機材展示コーナー	アマチュア無線中継所
防災情報相談所 （あんしんメール登録窓口）	給水車による給水所
煙からの脱出訓練	空き缶コンロ実演コーナー
住宅耐震診断の相談コーナー	防災ヘリコプターによる偵察訓練
測量体験・防災グッズコーナー	災害対応ラジコンヘリコプター展示 等
災害時の電気に関する相談・展示コーナー	関市消防団田原分団による一斉放水
LPガスの取り扱い説明・展示コーナー	災害対応車両展示コーナー
一般・携帯電話による災害用伝言体験・災害時用携帯電話等の展示コーナー	（防災バス、自衛隊・警察・中部電力・ドコモ・ソフトバンク 等）

[問い合わせ先] 危機管理課 池田・山口
電話番号 0575-23-7736